

2025. 5. 16

学校法人 早稲田大学
理 事 会 御 中

学校法人 早稲田大学

監事（常勤） 小 林 麻 理

監事 辻 山 栄 子

監事 園 マ リ

監事 柳 田 直 樹

2024年度監事監査報告書

2024年度監事監査実施時点で施行されていた私立学校法（2023年5月8日施行）第37条第3項および学校法人早稲田大学校規（寄附行為）（2021年10月15日施行）第24条の規定に基づき、2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）における学校法人早稲田大学（以下「本学」という。）の業務および財産の状況について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

(1)監査方法

- ①理事会、評議員会、その他重要な会議に出席し、必要に応じて意見を述べたほか、理事等から事業の報告および内部統制の状況報告を受けました。また、重要な決裁書類等を閲覧し、本学本部事務機構ならびに本学が設置する主要な学校の業務および財産の状況を調査いたしました。
- ②本学の経営方針、事業計画を把握し、総長との面談を行いました。また、必要に応じ学術院等を視察し、箇所長等関係者から現状と課題等について説明を受け、意見交換を行うとともに、2023年度監査結果についてフォローアップを行いました。
- ③会計監査人（ふじみ監査法人）からは計算書類等（財産目録、貸借対照表、収支計算書および収益事業に係る計算書類）に関する報告を受けて検討いたしました。
- ④監査室からは内部監査について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

(2)監査結果

- ①計算書類等は、本学の収支の状況および財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②本学の業務もしくは財産の状況に関する不正の行為または法令もしくは校規に違反する重大な事実はないものと認めます。

(3)監事所見

- ①「世界で輝くWASEDA」の実現に向けた「WASEDA VISION 150 AND BEYOND」の進捗・達成

状況について、戦略的に研究を推進するGlobal Research Center(GRC)、地球規模の視野と文理を超えた総合知を獲得する教育を提供するGlobal Education Center(GEC)、「人・社会・地球の未来に貢献する」人材を育成するGlobal Citizenship Center(GCC)の取り組み、運営体制構築等の状況を確認しました。今後、3つのグローバルセンターが従来の縦割りの垣根を越えて、一貫したマネジメントを実現し、互いが有機的な繋がりを持つことでシナジー効果を生み出すことを期待します。

- ②リスク管理・コンプライアンス推進をはじめとする内部統制システムの整備およびガバナンス体制の強化への取り組み状況等を確認しました。私立学校法の改正を踏まえて、さらなる大学運営の透明性と適正性を確保し、ガバナンス体制の一層の強化に取り組まれることを望みます。
- ③研究教育活動の質向上に向けた大学本部事務機構および学術院等の多様な取り組み状況を確認しました。その過程において、一部のキャンパスの研究教育環境に重大かつ緊急の取り組みを要する課題があることを認識し、意見を述べ、当該課題については、理事会主導のもと、解決されました。今後も、研究教育環境について残された課題のさらなる改善に取り組み、多様な主体が協働し新たな価値の創出を目指すことを期待します。
- ④財務体質の強化に向けた取り組みとして、Waseda Endowmentの運用状況について確認しました。さらに、多様な収入源による財政基盤のさらなる強化と資金運用で得た果実の戦略的な研究教育活動への投資に努められることを期待します。

以 上